



飯田 亮 まこと 昭31経

(セコム創業者・
取締役最高顧問)

●1956年政経学部経済学科卒
●アメリカンフットボール部

●大学での一番の思い出は、生涯の**刎頸の友**、戸田壽一氏との出会いである。私はアメリカンフットボール部で、同じ学科で1年先輩の戸田氏は硬式野球部だった。スポーツマン同士なのでうまが合い、新宿西口の安居酒屋でよく泡盛を飲んだ。鼻をつまんで駆け出すと酔えると聞いて5杯ずつ飲み、新宿の地下道を駆けたところで本当に酔いが回ってきた。一緒に勉強したのは、統計学の**試験前日の一夜漬け**1回だけだが、そのときも結局**ウイスキーを1本ずつ**空けてしまった。●卒業後も、戸田氏はよく私が入社した実家の酒問屋に来て酒を酌み交わし、将来を語り合った。あるとき、知人から欧州に警備の業務があることを聞き、**二人で意気投合して**日本初の警備会社・日本警備保障(現・セコム)を**創業**した。私が社長のときは戸田氏が専務、私が会長になると戸田氏が副会長で、二人三脚で経営した。戸田氏は2014年に逝去したが、学習院大学で戸田氏と出会ったことは、一生を通じて何にも勝る僥倖となった。

●もう一つは、部活動の思い出である。私は最初、高校でも所属していたラグ

ビー部に入ったが、健康診断で「心臓肥大だから運動は避けたほうがいい」と言われ、しかたなく退部した。しばらくブラブラしていると、先輩から**アメリカンフットボール部**を作らないかと誘われ、心臓肥大なのに無茶な話だが、つい承諾してしまった。●あるとき、グラウンドで練習していると、

アメリカ人が熱心にこちらを見ている。米軍所属のラッセル・ブラック氏だった。コーチを頼んだら快く引き受けてくれ、なくて困っていた道具やユニフォームも米軍に話をつけてくれたので、早速トラックで横須賀まで受け取りに行った。当時、アメリカンフットボールの道具は使い古しても貴重だったため、他大学からもよく借りに来た。●2年生で事実上のキャプテンになり、新入生を勧誘して回ったが、部員をかき集めても次々と脱落する一方、先行の6大学でリーグ戦を行っていたため、加盟を申し込んでも入れてくれない。やむをえず米駐留軍やアメリカンハイスクールを相手に試合を行った。廃部の危機もあったが、練習だけは継続して何とか維持しているといつしか部員も増えてくる。細々であっても**継続することの大切さ**をこのとき知った。

●私の心臓は1年後、正常の大きさに戻り、スポーツを続けて正解だった。アメリカンフットボールは人間同士のコミュニケーションが勝負であり、**会社経営もまったく同じ**だと思う。貴重な学びを経験させてもらった。